

## 「秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日：2019年7月19日

所属：教育文化学部／研究科 地域文化学科・課程・選修／専攻 3年

氏名：三浦純玲

派遣先大学名（国） 龍華科技大学（台湾）

在籍身分：交換学生

派遣期間：10か月

渡航年月日：2018年9月6日

帰国年月日：2019年6月25日

### ○派遣先大学における授業等の履修状況

授業名	履修期間	講義時間 (週)	単位取得数
初級華語	2018年9月～2018年12月 2019年2月～2019年6月	9、6	9、6
生活英語聴講	2018年9月～2018年12月	2	2
跨文化認知	2018年9月～2018年12月	2	2
英語會話	2018年9月～2018年12月	2	2
基礎中文語法	2019年2月～2019年6月	2	2
英語會話（二）	2019年2月～2019年6月	2	2
餐旅英語	2019年2月～2019年6月	2	2

### ○研究・学習概要及び今後の勉学計画

中国語と英語を学習できることが、台湾留学を決めた理由の一つでもあったため、バランスよく授業を選択しました。中国語を学ぶクラスでは、基礎から始め教科書に則ってだんだんと語彙を増やししながら様々な表現を学びました。先生は全て中国語で授業を進めるため、最初は緊張したり聞き取れなくて焦ったりもしましたが、授業に参加するたびにだんだんと慣れていきました。一課が終わるごとにテストが実施されるので、理解できていない点を知ることができ、復習し直すことができます。授業で学んだことを実際に生活の中で使ってみる

ことで、中国語がどんどん身に付いていくのを実感しました。

英語で行われる授業は、文化を学ぶものやコミュニケーションの練習をするものが多かったです。龍華科技大学の交換学生は、学部や学科の区別なく好きな授業を選択することができたので、いろんな学部の生徒と授業で知り合うこともできました。

留学の経験を活かして、HSK を受験して資格を手に入れたり、秋田大学で学んでいる交換学生のチューターを務めたりしたいと考えています。また、卒業論文は台湾に関連したテーマで進めていくつもりです。

### ○生活面について

龍華科技大学には、大学の敷地内に学生寮が 3 つあります。学期中は一宿舎(4 人部屋、トイレシャワー付き)、冬休みは二宿舎(2~3 人部屋、トイレシャワー共用)に住みました。いつも部屋に誰かがいるので、一人になれる空間が欲しい人には少し大変かもしれません。また、台湾は温暖な気候なため年中ネズミやゴキブリ、トカゲが寮の中にもいました。共存していく努力をする必要があるようでした。

台湾は外食産業が盛んであるため、昼食や夕食はほとんど外で食べました。そもそも寮の中にキッチンがないため自炊はできません。外で食べても一食 300 円程で安く済みます。

安いといえば、台湾は交通費もとても安いです。大学から 10 分ほど歩けば最寄駅があり(バスでも行けます)、40 分ほど地下鉄に乗れば台北中心部に着きます。地下鉄もバスも本数が多くとても便利です。台中や高雄にも気軽に旅行しに行くことも可能です。

### ○その他留学全般にわたる感想

中国語をほとんど知らない状態で挑戦した台湾留学でした。最初は本当に不安しかなかったです。コンビニでお会計するのも緊張していました。でも、そんな状況だからこそ自分の力で何とかしよう、頑張ろうという気持ちが湧いてきたのだと思います。

留学中には、周りの人に大変お世話になりました。台湾で出会った友人たちは色々なところへ連れて行ってくれたり、中国語を教えてくれたり、正月や旧正月には実家に招いてくれました。学校では学べない、実際の台湾家庭の生活を体験する貴重な機会となりました。もちろん楽しいことだけではない 10 ヶ月でしたが、この留学生活は私の人生で、絶対に忘れることのできない特別な時間です。





(友人と日月潭へ年越し旅行、本人右から二人目)

#### ○渡航費補助について

寄付をしてくださった沢山の方々、本当にありがとうございました。日本から世界へと視野を広げて、努力している人たちへの応援をこれからもよろしく願っています。